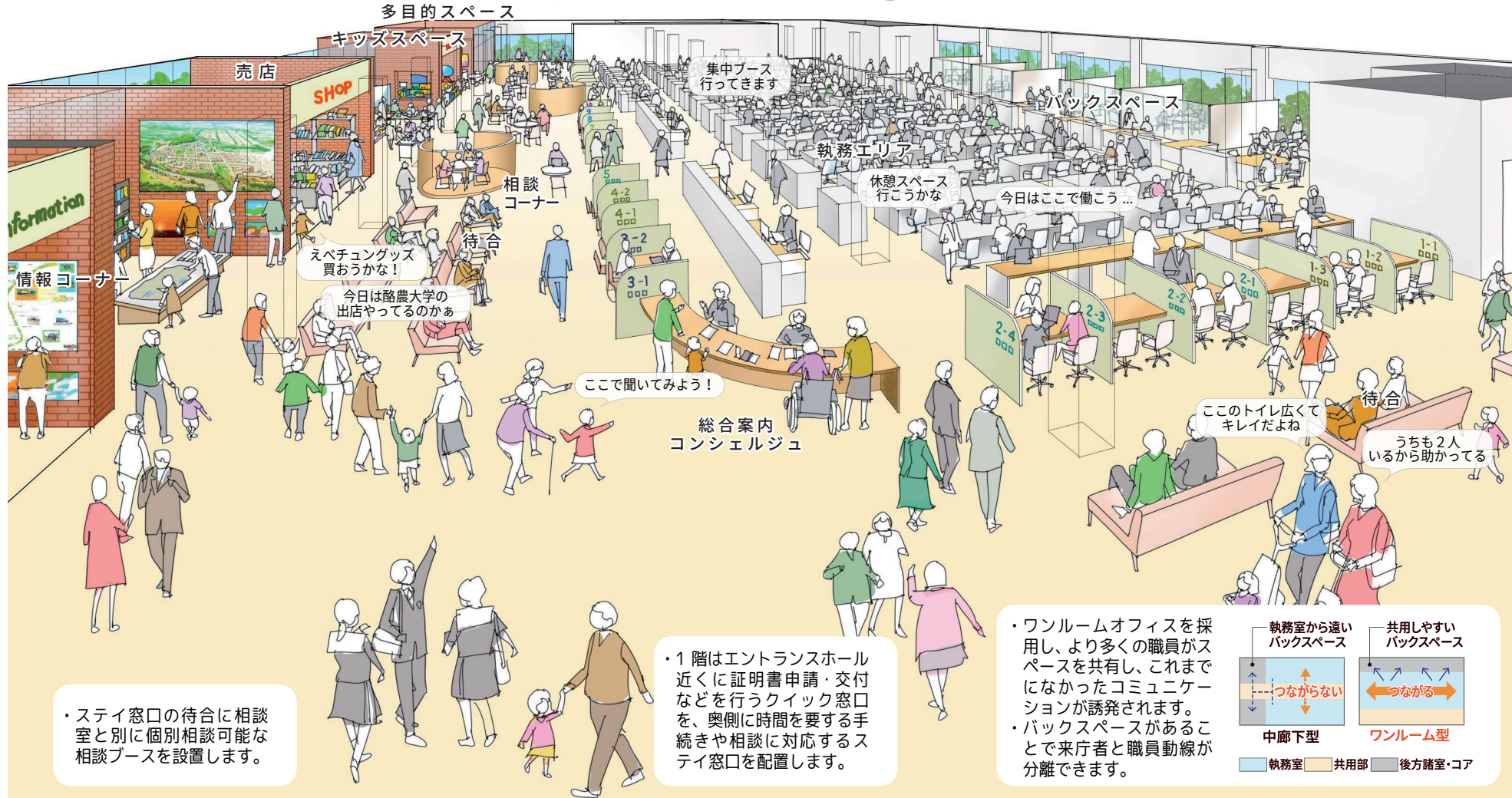


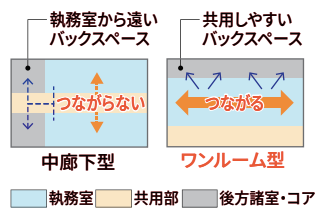
# 100年先の未来に「つながる」柔軟性のある庁舎



・ステイ窓口の待合に相談室と別に個別相談可能な相談ブースを設置します。

・1階はエントランスホール近くに証明書申請・交付などを行うクイック窓口を、奥側に時間を要する手続きや相談に対応するステイ窓口を配置します。

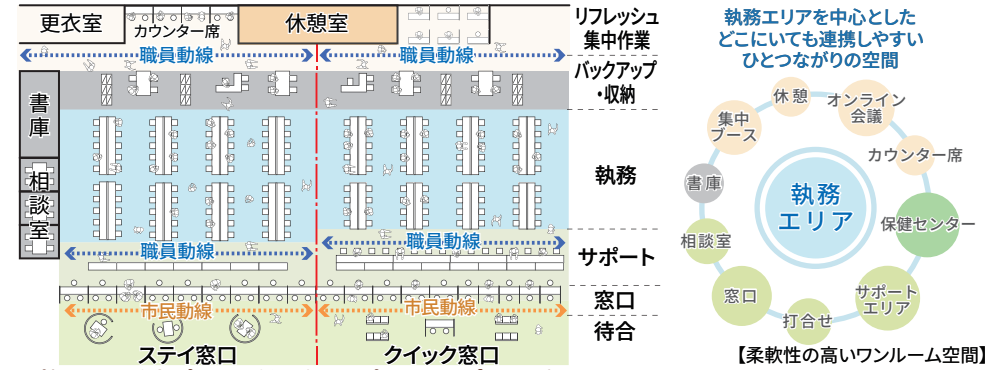
・ワンルームオフィスを採用し、より多くの職員がスペースを共有し、これまでになかったコミュニケーションが誘発されます。  
・バックスペースがあることで来庁者と職員動線が分離できます。



<テーマ5> [働きやすく効率的な庁舎]

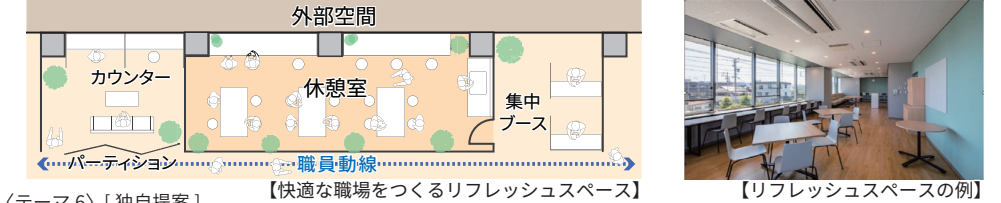
## 職員連携しやすく柔軟性が高いワンルームオフィス

- ・執務エリアは約60m×15mの無柱空間を中心とした自由度の高い空間とします。
- ・間仕切りがなく見通しの良いユニバーサルレイアウトにより、職員同士の連携とコミュニケーションを向上させます。
- ・効率的なワンルームオフィスにより、サポート、バックアップ、リフレッシュの各エリアは適切な広さを確保でき、使いやすい執務空間を実現します。
- ・よく使う書類はフロア内の書庫に、保管が必要な書類は4階集密書庫に収納する効率的な収納計画とします。



## 職員の健康と労働環境に配慮したウェルネスオフィス

- ・常に目目にふれる窓口業務は執務エリア内で休憩しづらいため、窓口から離れた北側に安心してリフレッシュできる休憩室を設けます。
- ・窓側には業務内容に応じて作業環境を選べる集中ブース、作業机、カウンターなどを設け「ABW」に配慮したオフィスとします。
- ・働き方改革、DX化による次世代の働き方を見据え、健康で生産性を高められるウェルビーイングに配慮したウェルネスオフィス計画とします。

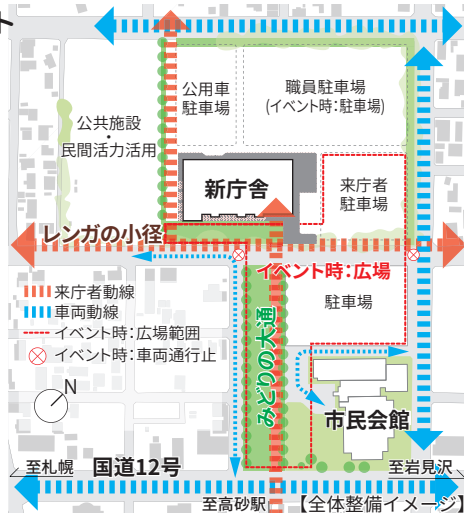


<テーマ6> [独自提案]

## 100年先にもぎわい続ける魅力発信拠点

### 現庁舎、市民会館も含めた魅力発信の新スポット

- ・周辺住民がいつでも気軽に散歩でき、立ち寄ってもらえるように、新庁舎敷地内に設ける散策路の「レンガの小径」を市民会館周辺にまで広げ、国道12号から市民会館、新庁舎までつなげることを提案します。
- ・現庁舎、市民会館西側には「レンガの小径」と一緒に、様々なイベントが開催できる「みどりの大通」を提案します。新庁舎の「まんなか広場」、来庁者用駐車場を含めた一体的な利用により、大きなイベントの開催も可能になります。
- ・国道12号から新庁舎を望む景色と人々が集う様子が江別の新しい風景になります。



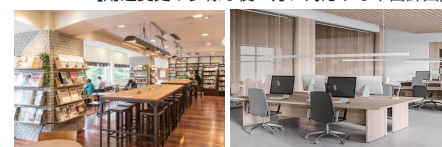
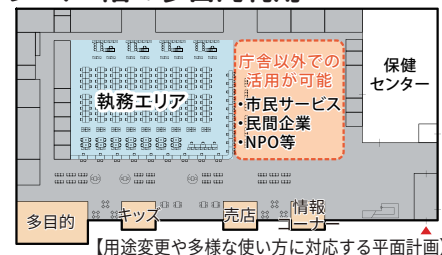
【国道12号から見た、まちの新しい風景】

<テーマ6> [独自提案]

## DXの推進・人口減少に備えた柔軟性のある施設計画

### 庁舎機能のコンパクト化に伴う1、2階の多目的利用

- ・今後のDXの推進や人口減少に伴い、将来的に庁舎機能が縮小することも想定し、余剰スペースを市民サービス機能、コミュニティ機能や民間企業NPOのオフィスなど、様々な利活用が可能な計画とします。
- ・休日、夜間の開放も想定した空調など設備の区分設定や管理区画を検討します。



### 様々な使い方や用途変更に対応できる自由度の高い施設計画

- ・将来の公共施設のスリム化や集約化に対応できる柔軟性の高い施設計画とします。
- ・建物中央部は自由度を高めるために柱を少なくし、間仕切も変更しやすい乾式間仕切にするなど他の機能に変更しやすい計画とします。
- ・設置する家具についても、移動が容易で組み合わせによる変更が可能な家具とします。



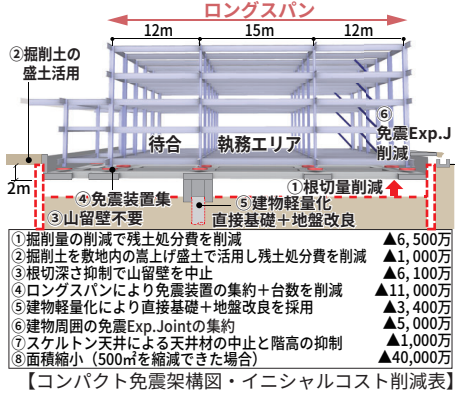
<テーマ6> [独自提案]

## 防災拠点としての備えを共に検討します

### 様々な災害に備え、永く安心安全な建物として使い続けられる計画の検討

- ・基本計画の方針で比較検討された免震構造よりも工期を短縮でき、かつ工事費も抑制できる「コンパクト免震構造」を提案します。  
工期短縮：掘削深さを大幅に減らし免震装置の直上から鉄骨造を構築することで工期を短縮し耐震構造と同じ設計工期・工事工期を実現します。
- ・工事費抑制：右図に示すコスト削減案で耐震構造0%～+7%の工事費で高性能免震建物を実現します。
- ・大地震を受けても構造躯体は損傷せず什器備品の転倒を防止し外壁やガラスなどが脱落することがなく補修の必要がありません。
- ・防災拠点として大地震直後から初動体制を確立し、災害対応のタイムラインを確実に支えます。

	耐震構造	コンパクト免震構造
拡大断面		
支持方法	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(柱)杭基礎で支持	上部構造 鉄骨造 建物軽量化することで地盤改良により支持
工期	一般的な期間で施工可能	耐震構造と同じ期間
申請	確認申請のみ	告示免震活用で確認申請のみ
工事費	1.0	1.0～1.07



### 施設の長寿命化を可能とし、未来へつなぎます

- ・高強度コンクリートを使用し100年の耐久性を確保
- ・防錆処理を施し鉄骨の発錆を防止
- ・耐久性と耐候性のある外装材や防水材の使用
- ・時代の変化に柔軟に対応できる耐荷重の設定

